

# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮東小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	R5年度市学習状況調査の国語・算数の「知識・技能」において、すべての学年でR4年度市学習状況調査を国語で3ポイント、算数で2ポイント上回る。	⇒ 国語の言語活動や算数での算数的な活動、社会での調べ活動、理科の実験など、体験的な学習を重視しながら、学習内容の定着を図っていく。「ドリルパーク」や「タディサブリ」を活用し、漢字や計算問題に取り組み、基礎的、基本的事項の確実な習熟を図る。
思考・判断・表現	R5年度市学習状況調査の国語・算数の「思考・判断・表現」において、すべての学年でR4年度市学習状況調査を国語で3ポイント、算数で2ポイント上回る。	⇒ 児童が考える時間を確保し、ノートやワークシート、タブレットを用いて考えを表し、互いに考えを交流する場を計画的に設ける。国語の授業では、学習内容に応じて、思考・判断・表現を伴う学習活動を授業に取り入れ、思考の過程を重視する導を実践する。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度市学習状況調査「コンピュータを活用して、学習内容の理解度や、興味・関心に合わせて学習することができましたか」において、5・6年とも95%を上回る。	⇒ すべての児童にとって必要感のある課題設定ができ、よう問題提示を行う。また、解決の見通しをもつ場、自力解決の場、交流の場を確保しながら、ICT機器を有効に活用して、学習の理解度に応じて主体的に学びながら課題に取り組むようにする。

次年度に向けて  
(3月)

<小6・中3>(4月～5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)	
思考・判断・表現	職員会議・校内研修等	
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語とも-3ptであった。国語の日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる問題で無解答が多かった。敬語の学習場面以外にも、様々な学習、日常場面で定着を図る。
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語とも-1ptであった。算数の「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる」の問題に課題がある。用語をいながら考えを説明する活動を工夫していく。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査の「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器の程度使用しましたか」の設定で、「ほぼ毎日」「週3回以上」が85%程度あった。より一層、活用した学びを推進する。

①結果分析(管理職・学年主任等)  
②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ ICT機器を有効に活用した解決の見通しをもつ自力解決の場、交流の場の充実を図るとともに、アプリを活用し、学習の理解度に応じて課題に取り組むようにする。

中間評価(9月)  
目標・策の見直し

反映

年度末評価  
(2月)

結果提供(2月)

さいたま市学習状況調査

調  
ス  
基  
トに現  
指  
る自  
効  
が

語、算数  
答の児

語、算数  
大小を判  
正しく使

器を、ど  
プレットを

場、  
ア  
組